



本郷台中 LIBRARY



令和7年6月 No.27

文京区立本郷台中学校

学校司書 東本沢美

～今月の結果発表～



4月25日から行っていた「クローバー大作戦・本を借りてクローバーを飾ろう！」の企画に、多くの方が参加してくれました。イベントは5月26日に終了しました。



本を借りた冊数分、クローバーの型紙を貼る企画です。学年別に色分けしています。

こちらは最終日の写真。枠内に収まらないほどクローバーが満開になりました。

結果発表！

1年生 黄緑色 = 83枚！
2年生 緑色 = 77枚
3年生 黄色 = 38枚
先生 青色 = 29枚



1年生、おめでとうございます！
皆さんどうもありがとうございました。

6月の特集展示は「世界環境デー」「考古学」「日記」「楽器の日」です。

今月のおすすめ本

今月は特集展示の一部、「日記」「世界環境デー」から各1冊ずつ紹介します。



『さみしい夜にはペンを持って』
古賀史健 著 ポプラ社

学校にも居場所がなく自分のことが大嫌いなタコジローは、ある日公園で不思議なヤドカリおじさんに会います。おじさんから日記を書くようすすめられたタコジローは、自分と向き合う時間を過ごしながら、少しずつ変わっていきます。

海の世界のファンタジーとしても楽しめますが、内容は深く、日記を通して自分と対話する大切さが書かれています。イラストがたくさん入っていて、見出しやレイアウトも素敵！読みごたえのある一冊です。



『17歳のピオトープ』
清水晴木 作 幻冬舎

「ピオトープ」という言葉を知っていますか？「ギリシャ語でピオが生き物、トープが住むところ」（本文P156）とあります。自然や生き物だけでなく、この本では「私たちの生きる居場所」の意味でも使われています。たいらじんせい

高校で校務員をしている平人生先生の元には、イケメン(!)で独特な答えが返ってくるという理由から、悩みを抱える高校生が集まってきます。「恋と愛の違いって何?」「運、それはガチャでしょ?」等々、等身大の悩みを抱える4人と人生先生との連作短編集です。

人生先生が魅力的(そして謎)で、先生の言葉に私も考えながら読みました。さわやかな余韻が残る本です。

6月の司書在館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7 運動会!
8	9 振替休日	10	11	12 学習支援教室	13	14
15	16 学習支援教室	17	18	19 定期考査	20	21
22	23 定期考査	24	25 学習支援教室	26	27	28
29	30					

★黄色は司書がいます。

★開館予定は変更することがあります。

図書館利用案内

開館日時
・平日 13:05～16:30
・昼休みは図書委員が開館
・司書不在日は昼休みのみ開館

貸し出し冊数 **3冊**
返却期間 **2週間**

※開館予定は変更することがあります。
※図書館は静かに利用しましょう。

※学習支援教室のある日は放課後閉館します。
→今月は6/12、6/13、6/16～6/18、6/25です。

今月の特集 「考古学」

6月18日は「考古学出発の日」です。大森貝塚を発見したアメリカの動物学者、エドワード・シルベスター・モース博士が日本に来日した日にちなんで制定されました。図書館ではこの他にも考古学に関する本を展示しています。



『知られざるマヤ文明ライフ
え？マヤのピラミッドは真っ赤だったんですか!?!』
譽田亜紀子／著 寺崎修一郎／監修
誠文堂新光社



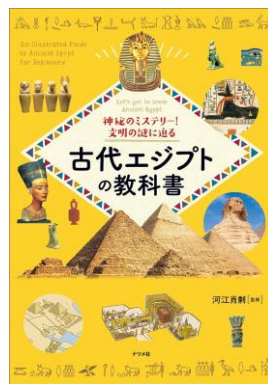
『沈没船博士、海の底で歴史の謎を追う』
山松晃太郎／著 新潮社



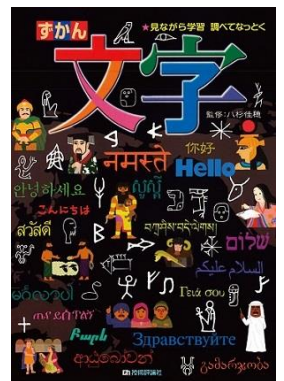
『楽しく学べる歴史図鑑 はにわ』
若狭徹／監修
スタジオタッククリエイティブ



『13歳からの考古学
なんて洞窟に壁画を描いたの？
美術のはじまりを探る旅』
五十嵐ジャンヌ／著 新泉社



『神秘のミステリー！文明の謎に迫る
古代エジプトの教科書』
河江肖剣／監修 ナツメ社



『ずかん 文字』 八杉佳穂／監修
技術評論社



『13歳からの考古学
なんて人は青をつかったの？
青色の歴史を探る旅』
谷口陽子 高橋香里／著 新泉社



『土偶を読む図鑑』
竹倉史人／著 小学館